

第25回魚野川川下り大会並びに クリーン事業

魚野川を育む会 代表 羽吹 登

はじめに

21世紀、私たちが住む大地の輝かしい発展を心から念ずるものである。

ここ、雪国魚沼地方も、素晴らしい歴史、文化、経済が先人達のたゆまない努力により、ふるさとの川を中心に創成されてきた。

上越国境に源流を発し、地方文化形成の大動脈である母なる川「魚野川」は、雪国の四季の恵みをうけつぎ、人々の心に、暮らしに、うるおいと安らぎを与え続けてきた。

しかし、激動する地域社会の都市化が急速に進展する中で、魚野川流域の豊かな自然とうるおいが、人々の心から失われつつある。

ふるさとに「美しい川」を求め、「清流魚野川に親しみを」を合い言葉に、魚野川流域を舞台に河川愛護精神の高揚をかね、各種事業を実施してまいりました。



環境をテーマに、シンポジウムを実施。

活動の目的及び概要

谷川連峰に源を発し、新潟県魚沼地方の平地部を形成しつつ、町の中心を洋々として流れる母なる川「魚野川」は、飲料水、農用水として利用され、豊富な漁場を提供して古代から人を住まわせ、農耕を盛んにし、近年まで続いた川船による交易は



夏の風物詩となった魚野川川下り大会とクリーン作戦



地元小学生、PTA、雪国青年会議所、地元住民と魚野川クリーン作戦を行う。

産業発展の基礎を築いてまいりました。反面、ある時は河川の氾濫に苦しみながらも、沿岸に生活する住民は魚野川と深くかかわって生きてきました。雪国であるがゆえに、安定した水量に恵まれ、その結果、今日のようなリゾート地並び企業の立地を見ることが出来たのです。

しかし、近年は廃物の投棄、大量の雑排水の流入など、川はゴミ捨て場となって汚染が進み、子ども達は川から遠ざけられ、人々は川を忘れていきました。ごく最近、流域河川に対する関心も高まり、地域住民参加によるクリーン作戦、環境保全を目的として大規模な魚野川流域上下水道整備事

業が進められております。こうした社会の潮流の中で、「魚野川に清流を取り戻そう」をスローガンに、流域住民有志の呼びかけで、毎年手作りいかだによる魚野川川下り大会が行われ、平成15年度、第25回目を迎えました。かけ声だけでなく、川の中から汚染の実態を見つめ、ゴミを拾いながら昔のように川に親しみ、夢とロマンと冒険を求めて青空集会、川の教室等を行ってまいりました。

最近では、県内外からの参加者も急増し、「環境」への関心も高まり、急流に挑む、壮快で素晴らしいロマンを満喫しております。ギャラリーも大勢になってきました。

魚のつかみどり大会、水辺流域の動植物の観察、魚野川源流登山、さくら鱒稚魚の放流体験事業等、川をきれいにするには、まず川に人を近づけ、親しむことが近道だと確信しております。



魚野川流域の小学生、PTA、JC、教育委員会と、「環境教育」野外学習会として、さくら鱒稚魚の放流。

美しい雪国流域の発展を求めて

魚野川発、大河信濃川流域への住民を挙げて、日本一の清流郷として、観光行政の夏場観光につなげ、さらに地方文化の向上と「まちおこし」から、信濃川流域市町村連携型「まちづくり」への活力となることを期待するものです。これからの21世紀を展望する事業として、「魚野川オアシスロード構想事業」の建設推進運動に取り組んでおります。本事業は平成元年より着手し、新潟県湯沢町、塩沢町、六日町、大和町を洋々と流れる魚野川を中心に、流域全体を活動ゾーンとして、すでに魚野川流域緑化推進事業（さくら植樹）の30kmさくらオアシスロード遊歩道は着々と事業化され、約7kmほどの魚野川沿いに桜並木が完成されました。今後さらに地域特色をかもし出し、植栽計画を推進します。例えば、大和町に繁殖する「秋グミ」「八色ツツジ」、六日町では「ハッカ草」「ノビル」、塩沢町では「フキ」「ワラビ」、湯沢町では「カタクリ」「キボウシ」など、住民からのアイデアと希



魚野川流域緑化推進事業（さくら植樹）環境を考える教室として地元小学生と実施

第25回魚野川川下り大会並びにクリーン事業

魚野川を育む会 代表 羽吹 登

望を募り、計画実施、また各所に名所旧跡や景色の見所、歴史地理に案内板を立てます。郡民に、また南魚の郷を訪れる人々に「水」について関心と認識を深め、かつ水辺空間の良さ、ありがたさを理解して頂く出発点となります。

まさに、万人の求める「魚野川オアシスロード」であります。

母なる川・魚野川に敬愛と感謝をこめて

21世紀の道標となるべく、2000年（ミレニアム）に特別記念事業「魚野川へのメッセージ」とし、国指定の坂戸山城跡ふもとにある銭淵公園内に魚野川を讃える碑建立しました。

本事業は総事業費約800万円、資金はすべて県内外からご協力賜り、ふるさと詩「魚野川」歌碑を設置しました。地域住民運動でできあがりました。

『水は天与の恵みであり、川は地与の宝』であると申します。本計画に、県内外から高い要望があり、魚野川をめぐる自然愛護の願いと、ふるさと魚沼への思慕愛郷の念を高揚する人々の願いが「魚野川を讃える碑」に込められ、多くの皆様から広くご理解とご支援を賜り、魚野川の殿堂がここに誕生しました。万人の「こころ」のいこいの舞

台となり、安心して安全な地域おこしの『ふるさと』となることを祈念いたします。

むすびに

魚野川へのいざない事業として、春夏秋冬「山・川・人」物語が、本事業を通して魚野川を育む会が地域住民から親しまれ、まちの顔、まちの誇りとして、明るく豊かなまちづくりの使者として貢献することを念願する次第である。第26回魚野川川下り大会とクリーン事業に向け、地域住民とともに今日から目標達成に歩み続ける所存です。

— 奉仕は人生の家賃なり —
郷土発展を求めて！！



毎年、魚野川源流登山で、水質調査並びに源流、山頂でクリーン作戦を実施